



ネットワーク運用自動化

SDNを活用してネットワーク運用（設計・設定）を自動化
ネットワークSEや運用管理者の作業全般の省力化を実現

IPアドレスやVLAN IDなどのネットワークリソースを、構成管理データベース上で一元管理。BIG-IPなどによって構成されたSDNネットワークと、従来型のネットワーク（従来技術のスイッチによって構成）が混在した、ハイブリッドネットワーク環境の構築と運用を自動化し、運用コストや管理者負担を軽減。ネットワークリソースの迅速な提供を実現します。

課題と解決策

課題

経営者の課題

- ・ 全社レベルでのネットワーク運用コスト削減
- ・ 全社のネットワークリソースの利用効率化と柔軟な活用
- ・ 迅速なネットワーク設定・変更作業による、新規システム立ち上げやシステム拡張の迅速化

運用管理者視点での課題

- ・ ネットワークのハイブリッド化により複雑化したネットワーク環境の運用効率化
- ・ 複数・広域データセンターのネットワーク運用管理の一元化
- ・ ネットワーク設定変更作業の負担軽減、リードタイムの改善

解決策

ネットワーク設計・設定作業を自動化・効率化

- ・ ネットワーク機器ごとに個別設定する必要があるなど、手間のかかる一連のネットワーク設計・設定作業を自動化、効率化

ネットワークリソースを管理台帳で一元管理

- ・ ネットワークリソースを管理台帳で一元管理。利用効率を向上し、手作業だった割り当て作業の管理負担を軽減

広域、分散データセンターにまたがったネットワーク運用

- ・ 広域に分散して設置されたデータセンターのネットワークを一元管理することで、ネットワーク運用管理コストを削減

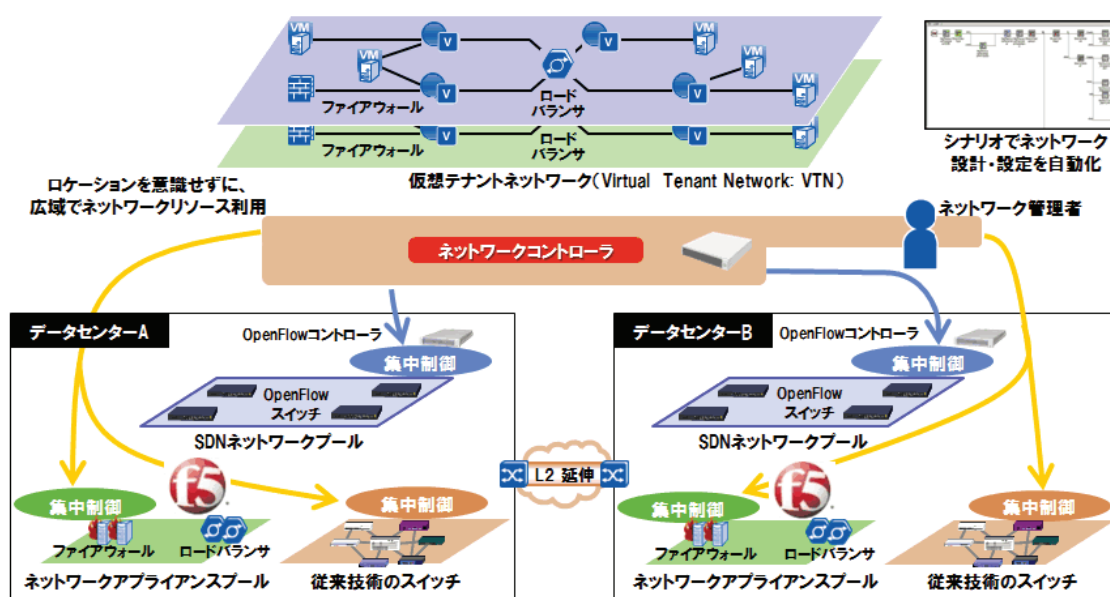
特長

- ・ハイブリッドネットワーク環境において、ネットワークの設計・設定を自動化。また、提供するネットワークリソースを標準化し、設計・検証をあらかじめ実施しておくことで、都度の設計・検証工数を削減し、運用を効率化
- ・従来、表計算ソフトなどのツールを使い、手作業で管理していたIPアドレスやVLAN IDなどのネットワークリソースをプール化し、データベース上で一元管理（台帳管理）。ネットワークリソースの割当てポリシーを予め設定することで、ネットワークリソースの管理台帳を自動的に生成し、利用状況や利用者情報を自動更新。ネットワークリソースの割当て自動化による割当てミス防止
- ・複数のデータセンターとその間を結ぶWANについてSDNを導入し、WANの回線種別に合わせてL2延伸技術※を利用することで、データセンター間で柔軟なネットワークリソース融通を実現

※以下のL2延伸技術に対応

- I) Hop By Hop方式 (OpenFlow)
- II) Overlay方式 (VXLAN、Ether Over IP)

イメージ図



ネットワーク運用自動化ソリューション詳細

<http://jpn.nec.com/sdn/>

本ソリューションのお問い合わせ

NEC SDN戦略本部

E-Mail : inquiry@sdn.jp.nec.com



F5 ネットワークスジャパン株式会社

東京本社
〒107-0052 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 19 階
TEL 03-5114-3210 FAX 03-5114-3201
<https://f5.com/jp>

西日本支社
〒530-0012 大阪府北区芝田 1-1-4 阪急ターミナルビル 16 階
TEL 06-7222-3731 FAX 06-7222-3838